

## 参加者感想

台湾での10日間は充実したものでした。日本語教育には全く触れたことがなく、初めはボランティアができるかどうか本当に不安でした。しかし、先生の中には、同じ大学のOBの方もいらしたので親近感もあり、心強かったです。実際の日本語教育は自分のイメージとは違い、先生達のサポートのおかげで、生徒さんともコミュニケーションをとることができました。生徒さんとは音楽の話で盛り上がることができ良かったです。

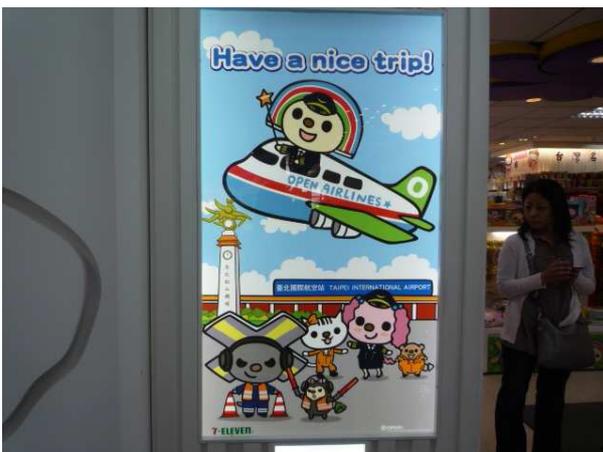
また、台湾での生活は人の優しさに囲まれていたと思います。



行きの飛行機の中で、入国書類を書いていたら、隣の台湾の学生さんが書き方を教えてくれたり、会社の方が新幹線で荷物を棚にあげてくれたり、重い荷物を段差の所でそっと持ち上げてくれたりしました。滞在中風邪を引いてしまった時も日本人の先生やボランティアの方が薬や冷えピタなどをくださり、助かりました。日本語学校の生徒さんにも、夜市やカフェなどに案内してもらいました。帰国途中何度もお世話

になったことを思いだし、涙がでそうになりました。

4月から3年になり、サークルでも部長になりプレッシャーで自分のことしか見えなくなることが多いので、自分が台湾で関わった人のことを思い出して他人のために何か出来る人



を目指していきたいです。10代最後の10日間、台湾で貴重な経験ができたことを誇りに思います。

本当にお世話になりました。

ありがとうございます。また、機会がありましたらよろしくお願いします。

最後に池頭さんをはじめ CEC の皆様には

# 参加者感想

**参加期間** 2013 年 2月 27 日 ~ 3月 13 日

## 参加されたプログラム名

台湾日本語教育ボランティア

## 参加の動機

春からの就職を前に、海外に長期滞在をしてみたいと思ったことがきっかけでした。普通の観光ではなく、何か違った形での滞在を探していて、CECのボランティアプログラムを見つけました。家庭教師のアルバイトをしていたため教育に興味があり、また台湾は治安がよいと聞いていたので、このプログラムを選びました。

## 【印象に残ったこと・感動したこと】

日本語の難しさを実感しました。普段は無意識で使っている文法や敬語などの使い分けを説明するのはとても難しく、自分の普段の言葉の使い方を振り返る良い機会になりました。また同じ漢字でも、中国語と日本語で意味が異なるものもあり、とても勉強になりました。

プログラムが終わりに近付いてきた頃、先生方から「帰っちゃうの？また遊びにきてね！」と言っていたことがとても嬉しかったです。

## 【大変だったこと】

言語の面でとても苦労しました。漢字なので見れば大体の意味が分かるのですが、発音が全く分からないので、特に買い物の際は大変でした。どうしても伝わらないときは、ノートに書いて筆談をしました。英語はほとんど通じませんでした。

授業の準備が大変でした。何度か授業での話題提供等の役割を先生方からいただきましたが、日本語教育の知識がない状態だったので、どうすれば分かりやすく、そして楽しんでもらえるかを考えるのがとて

も難しかったです。

## 【楽しかったこと】

生徒さんと言語交換をしたり、少し遠出をして日帰り旅行に出掛けたりしました。

言語交換では、普段日本語を話していてまったく意識していないような質問を受け、自分の使っている言語に対して深く考えることができ、とても有意義でした。

日帰り旅行は、日月潭には一人で行き、高雄は学生さんに案内をしてもらいました。自然がとてもきれいだったり、とても都会だったり、台湾の色々な面を見ることができ、とても楽しかったです。先生方には地元のお祭りやお店に連れていってもらえ、言語面などで助けていただいたお陰でとても満喫することが出来ました。

## 【持ち物について】 持って行って良かった物、or 持っていけば良かった物など

台湾は買い物の環境的にはあまり日本と変わらないので、特別なもの以外は現地で買うことができます。

あえて言うと、パソコンとスマートフォンは持って行ってよかったと思いました。

持っていけばよかった物はエコバックです。台湾のコンビニではビニール袋をもらえないので、あれば便利だと思います。また交通量がとても多いので、マスクがあった方がいいかもしれません。

## 【現地での服装について】 普段の服装や、活動先での服装のアドバイスなど

基本的には薄めの長袖で過ごしていました。しかし気温の差がとても激しく、ダウンジャケットが必要になる日があれば、半袖でも暑い日もありました。どちらにも対応できるようにした方がいいと思います。

学校には、長袖シャツにパンツという服装で行きました。オフィスのようなきれいな服装ではなくてもよいと思いますが、あまりカジュアルになり過ぎないように気をつけました。

## 【現地の物価】 食品・日用品・外食・交通費etc・旅行に行かれた方はその費用など

現地の物価は日本より安いです。食費に関しては、大体1日300円あれば足りました。日用品も充実していて、

値段は日本とあまり変わりません。交通費も日本と比較すると安いです。台中市内の市バスは、8キロ以内なら無料なので、近くを観光する際には交通費はかかりませんでした。日帰りで旅行に行く際には、高速バスや新幹線を利用しました。

### **【コミュニケーション手段(言葉の問題など)について】**

思っていたよりも英語が通じず、買い物などの際に苦労しました。どうしても伝わらないときはノートに書いたり、また携帯で写真を撮って、指さして注文をしたりするなどしました。出発前に少しでも中国語を勉強してから行くと、役に立つと思います。

### **【ステイ先の情報・感想】 ホテル or ホームステイ**

学校から歩いて15分ほどの寮に泊めてもらいました。近くにコンビニやスーパー、夜市などがあり、特に買い物の面で困ることはありませんでした。洗濯機や冷蔵庫なども設置されていて、生活に不便はありませんでした。ただやはり温暖な気候のため蚊などの虫は出ます。スプレータイプの殺虫剤などがあると便利かもしれません。

### **【派遣(ボランティア)先について】 どこでどんな活動をしましたか**

主に学校での授業見学をさせてもらいました。見学だけでなく、授業間の空いた時間に生徒さんと言語交換をしたりなど、交流の機会もありました。授業では、先生方の授業のお手伝いをしたり、生徒さんの会話の相手などの役割を与えてもらいました。

### **【やってみたかった事・やり残した事】**

もう少しゆっくり観光をしたかったです。休みの日を利用して遠出もしましたが、日帰りではなかなか全てを回ることが出来ませんでした。

また、もっと中国語を話す機会をつくるべきだったと思いました。中国語に自信がなかったので、始めはあまり会話をする必要がないコンビニなどで食事を済ませていました。最後の1週間でやっと、ひとりで地元

のお店でお弁当を買ったり、夜市に行ったり、飲み物を買ったりすることが出来るようになりましたが、もっと早くに行動すべきだったと思いました。

## 【その他、自由にご記入ください】 写真大歓迎！！

初めての海外長期滞在で不安もたくさんありましたが、GECのスタッフの方、学校の先生方そして生徒さんに助けをもらいながら、無事に約2週間のプログラムを終えることができました。日本語を説明して、生徒さんに「わかりました！」と言ってもらえたときの嬉しさ、頑張って中国語を話して相手に通じたときの喜び、そして日本語も中国語も通じず英語で話したら分かってもらえたときの安心感。言語がどれほど難しく、そして重要なものかを、今回の滞りで身をもって実感できました。日本という国や教育についても色々考えることができ、社会に出る前に貴重な体験ができたと思います。ありがとうございました。

女性

(ご参加時年齢)20 歳代

ご協力ありがとうございます。今後のプログラムに役立てさせていただきます。

## 参加者感想

1) 具体的な日本語ボランティアの活動内容、何時から何時までどんなことをさせてもらっているか。

主に語学学校で会話の授業に参加していました。こちらから質問をしたり、生徒さんからの質問に答えるような形でした。日本語の文法などに関する質問ではなく、「昨日は何をしましたか」「日本のどこへ行ったことがありますか」などの会話でした。授業はほとんどが午後からで、遅い時は夜10時くらいまで授業がありました。会話のみの時は始めから終わりまで参加したこともありますが、大体は前半の会話の部分だけ参加し、後半は先生たちが教科書をを進めるため、その時間は席を外していました。私は生徒さんと話したい話題を用意していたので、会話の時間には主にその話題について話してもらいました。先生によって授業スタイルが異なるので、生徒さんの隣で会話することもあれば、前に立って話すこともありました。会話以外には、一度だけ小さい子にひらがなを教えました。大学で授業をしている先生もいるので、その見学をさせてもらおうと同時に大学生の方とも仲良くな

り、見学と一緒にいったほかの日本人は言語交換をしていました。

2) 滞在の場所、どのような設備があるか、洗濯や食事はどのようにしているか。

学校から徒歩 15 分くらいの部屋を用意していただきました。近く（徒歩 5 分圏内）にはコンビニや飲食店もあり、とても便利でした。食事は、朝はコンビニのパンで済ますことが多く、昼や夜は近くの店で買うこともありました。部屋にキッチンがあるので自分で料理したり、お湯を沸かすことはできます。

部屋は 3 部屋＋共同スペースで、共同スペースに全自動洗濯機やキッチンがありました。そのほかシャワーや冷蔵庫もあり、不便はなかったです。

3) 現地でかかっている費用 食事、交通費、交遊費、など

お金はそれほどかからないと思います。食事は多くても一日 1000 円あれば十分で、平均 500 円～600 円くらいだと思います。一食 200 円分あればお腹一杯になりました。交通費は、バスにはほとんど乗らなかったのですが詳しくはわかりませんが、バスカードがコンビニでも売られており、それを使うと 7km (8km だったかも知れません) 以内は乗り放題だそうです。タクシーも日本に比べればはるかに安く、20 分くらいの距離を乗った時は 500 円くらいだったと思います。電車は隣町の彰化に行くときに利用し、普通が片道 70 円くらいでした。そのほか、本などを買いましたが、本はかなり安かったです。日本の三分の一くらいの値段でした。

4) もって行ってよかったもの、日本からもってくればよかったと思うもの。

持って行ってよかったものは、雨具、パソコンです。雨の日が数日あったので、傘とカッパは重宝しました。テレビが無いのでパソコンを持って行ってよかったと思います。部屋はワイファイが飛んでいるのでインターネットが使えます。持って行けばよかったものは、長そでの上着と帽子です。朝や夜、天気の良い日は肌寒いので長そでの上着があると使えたと思います。日中や晴れの日には日本の 9 月くらいの恰好で十分でした。晴れの日には日差しが強いし、徒歩での移動が多かったため帽子があった方が良かったです。

5) 現地の先生や、生徒さんとのかわり。どのように接しているか。

生徒さんとは授業後や授業前におしゃべりすることもありました。こちらから話題を振るとみなさんいろいろなことを話してくれました。レベルによって話し方を変えたり、筆談を交えて話していました。先生方にもやさしくしていただきました。お忙しい中授業の見学もたくさんさせて頂きました。先生によってさまざまな教え方があるので、いろいろな先生の授業を見学できたことはとても貴重な経験でした。

6) 今後参加される方へのアドバイス どんなことでも良いです。

長期で参加される方は、実際に行ってみてからどのようなことをするか考えても十分時間があると思いますが、短期で参加される場合は日本でできることもあると思います。私は日本語教育についての知識がほとんどない状態だったので、レベルによって話し方や単語を使い分ける必要があることを現地で学びました。参加する前に日本語を教えることに関しての知識を少しでも蓄えておいたらよかったかな、と思いました。また短期の場合は中国語の授業も短めなので、普段の生活（お店での注文など）で使える言い回しなどをあらかじめ知っておくと生活しやすいと思います。英語が時々通じますが、基本的に中国語でのやりとりでした。